



音声入りの新動画公開

東京電力 3月12日深夜分から

東京電力は今年八月に公開した福島第一原子力発電所事故直後の社内テレビ会議の映像に加え、新たに本店での音声入り録画映像(II写真)を五日公開した。公開したのは事故翌日の昨年三月十二日午後十時五十九分から十五日午前零時付までの音声入り録画。八月の公開では約百五十時間分のうち、多くの部分で音声が入っており、今回は個人名や電話番号などに配慮しながら、報道関係からの要望のあった百六十一か所の音声入り動画を改めて公開した。ホームページで公開している。

原子力重要な役割 引き続き

STフォーラム

科学技術をめぐる様々な課題について各国有識者で議論する国際会議

各社除染用機器など紹介

RADIEX 被災地の現状報告も

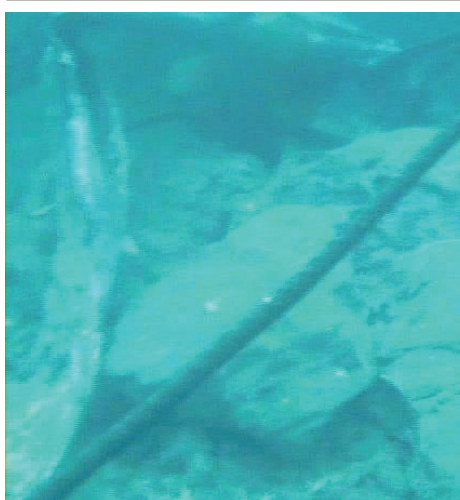
環境放射能除染・廃棄物処理国際展(RADIEX)二〇一二年および環境放射能除染・廃棄物処理国際フォーラムが九月下旬、東京



標高15mの防潮堤完成

志賀原子力発電所 排水ゲート42か所

北陸電力は一日、志賀原子力発電所の津波に対する安全強化策として建設工事を進めてきた防潮堤・防潮壁(II写真)の完成を発表した。同社では、福島原子力発電所の浸水防止のため、昨秋より、敷地西側(海側)に鉄筋コンクリート造の防潮堤(高さ四m、標高十五m)を約七百mにわたって設置する工事を進めてきた。防潮堤は、直径三・七mの基礎杭(九十本)で、地震の揺れや津波の衝撃に耐えうる強度を確保しており、万一、防潮堤を越える津波が発生し、敷地内に浸水した場合でも、短時間で排水できるよう排水ゲートが四十二か所配備されている。



鉄骨落下での異常なし

福一3号機 水中カメラで確認

東京電力は福島第一原子力発電所3号機の使用済燃料プール内へ、九月二十二日、互換撤去作業中に鉄骨(約三十センチ×二十センチ×七センチ、約四百七十キログラム)がプール内に滑り落ちた問題で、水中カメラでプール内を撮影した結果、貯蔵使用済燃料や貯蔵ラック、プールの壁面などの健全性を調査し異常がないことを確認したと三日発表した。プール水の放射能分析でも落下前と有意な変化は確認されなかった。

東通の緊急安全対策強化を視察

更田規制委員

原子力規制委員会の更田豊志委員は五日、東北電力の東通原子力発電所を訪れ、敷地高さ海抜二十三mに設置された大容量電源装置、防潮堤の建設現場、水密扉など、福島原子力事故を踏まえて講じられた緊急安全対策強化実態を視察した。

医療関係者向け ネット教材開発

放射線医学総合研究所

放射線医学総合研究所は、医療関係者向け放射線教育のインターネット教材を年度内に開発することを発表している。日本医師会が協力する。放射線医学総合研究所は、医療関係者向け放射線教育のインターネット教材を年度内に開発することを発表している。日本医師会が協力する。

動画で「柏崎最高(再興)PR

まちかど研究室

新潟産業大学(柏崎市)と新潟工科大学(同市)の学生が中心となって運営する「まちかど研究室」では、「柏崎最高(再興)プロジェクト」応募作品の各賞を決定した。柏崎をPRする六十秒以内の動画作品を公募した企画で、動画内に「柏崎最高」のメッセージを入れることが条件で、九件の応募があった。

「あなたの夢はなんですか?若者編」(宮沙織・沖ネット)、柏崎商工会議所賞に「柏崎を探検してみよう」(新潟工科大学長研究室)、柏崎青年会議所賞に「ブルボンKZ」(ブルボンウォーターボックラフ)、柏崎観光協会賞に「一番神タイピング」(一番神タイピング)、ニコニコ通り商店街賞に「まちから柏崎を最高に!」(まちかど研究室)が選ばれた。

「サイエンス・アンド・テクノロジー・イン・ソサエティ(STS)フォーラム」の第九回年次総会が七日から九日、国立京都国際会館で開催された。

初日には、天野之弥・国際原子力機関(IAEA)事務局長が「地球温暖化や資源問題を見据え、世界はますます原子力を重視している」と強調した。田中真紀子・文部科学相は福島第一原子力発電所の事故収束に向けて、今後とも世界の力を借りたいと述べた。

事故は安全が何より重要だと示した。核セキュリティと核不拡散の取組みも非常に重要である。などとする声明を発表し、閉会した。

「原産新聞ヘッドラインニュース」

無料メールマガジン

原子力産業新聞は、最新号の見出しと要約を、毎週月曜日までに電子メールを使って配信する無料メールマガジン「原子力産業新聞ヘッドラインニュース」のサービスを行っています。

メールマガジンの配信をご希望の方は、電子メールアドレスまたはFAXで、電子メールアドレス、組織名、部署名、お名前、ご連絡先電話番号を明記してお申し込みください。

お申込み先 shinbun@jaif.or.jp

こちらからも直接お申込みいただけます。

- 原産ホームページ (<http://www.jaif.or.jp/>)
- まくまく (<http://www.mag2.com/>)

一般社団法人 日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部 (TEL03-6812-7103、FAX03-6812-7110)

原産新聞の記事検索

<http://www.jaif.or.jp/>

原産協会が発行する「原子力産業新聞」では、1999年11月からの記事データベースから即座に目的の記事を検索できるサービスを、原産協会会員、原産新聞購読者を対象に行っています。何回利用しても無料です。

また、一般の方にも2002年4月からさかのぼって1955年9月25日の創刊号までは、紙面のPDF版が当協会HP「電子図書館」からご覧いただけます。PDF版のキーワード検索も年度単位でご利用いただけるようになりました。

○対象：原産会員、原産新聞購読者
ご利用にはユーザー名(ID)、パスワードが必要です。電子メールで購読者コード、組織名、部署名、お名前、ご連絡先電話番号を明記してお申し込みください。折り返し、IDとパスワードを返送します。

○お申込み： information@jaif.or.jp
○お問合せ： 一般社団法人 日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部 (TEL03-6812-7103)

【著作権】 一般社団法人 日本原子力産業協会